

平成 27 年 3 月 12 日

<報道関係各位>

株式会社 **アデランス****あなたの薄毛はM・Oどっち？****薄毛に悩む男性の 4 割が『M型』薄毛タイプと認識**

- ・若い人ほど薄毛対策に熱心で、薄毛へのストレスを感じている
- ・薄毛になって変わったこと「帽子をかぶるようになった」
- ・ウィッグの着用タイミングとして「転職」や「定年」も

株式会社アデランス（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長 根本 信男）は、新增毛商品「ヘアパーフェクト」シリーズの新商品「ヘアパーフェクト アクション」の発売に合わせ、意識調査を実施しました。全国の 30～70 代の薄毛に悩む男性 1,000 人を対象に、インターネットによるアンケート調査を行いました。

その結果、30～70 代の薄毛に悩む男性の 42.4%が、前頭部のヘアラインが上がっていき、おでこが広がっていく M 型の薄毛タイプで、23.8%が頭頂部の薄毛が進行する O 型の薄毛タイプと認識※していることが分かりました。また、若年層ほど薄毛であることに対してストレスを感じており、7 割以上の 30 代男性が日頃から薄毛対策に取り組んでいることが判明しました。さらに、薄毛になって最もストレスに感じていることを尋ねたところ、全体では「恰好が良くない」の回答が 25.7%で最も多い結果となりました。世代を問わず、多くの男性が髪型を身だしなみの重要な要素と考えていることが伺えます。

※薄毛タイプに関する意識調査で、医療機関で行われる薄毛タイプの診断結果ではありません。

さらに、薄毛で悩んでいてウィッグの使用に興味がある人（n=224）にウィッグの着用タイミングを訪ねたところ、「タイミングに関係なく、必要となった時にすぐ使用したい」の回答が最も多く、全体の 57.1%を占めました。一方、30～40 代は「転職」、50～70 代は「定年」も高い支持を集め、新生活や環境の変化をウィッグ着用タイミングのひとつとして考える人がいることが分かりました。

調査結果トピックス

- ◆30～70 代の薄毛に悩む男性の 4 割が「M 型」の薄毛タイプと認識
- ◆若い人ほど薄毛対策に取り組んでいる傾向に
- ◆薄毛ストレス度は加齢と共に減少。ストレス内容のトップは「恰好が良くない」
- ◆薄毛になって変わったこと 1 位「帽子をかぶるようになった」、2 位「他人の視線を気にするようになった」、3 位「他人の頭皮や髪型を見るようになった」
- ◆ウィッグ着用タイミング トップは「必要となった時にすぐ」「転職」や「定年」も

調査概要

- 調査対象：全国の30～70代の薄毛に悩む男性 各250名※ 合計1,000名（有効回答数）
※30代、40代、50代、60・70代に分類
- 調査期間：2015年2月24日（火）～2月25日（水） 2日間
- 調査方法：インターネットアンケート
（調査協力会社：株式会社マーケティングシステムズ）

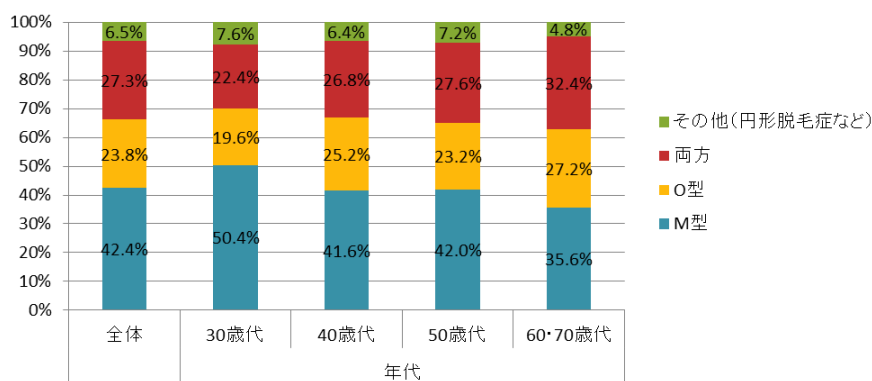
<主な調査結果>

◆薄毛に悩む30～70代の4割が『M型』の薄毛タイプと認識※

薄毛タイプについて尋ねたところ、30～70代の薄毛に悩む男性の42.4%が、前頭部のヘアラインが上がっていき、おでこが広がっていくM型の薄毛タイプであると感じており、若年層ほどその割合が多い傾向がみられました。一方、全体の23.8%が、頭頂部の薄毛が進行するO型の薄毛タイプと認識しており、主に40～70代に多くみられました。また、全体の27.3%がM型とO型が融合した薄毛タイプと認識しており、その割合はO型の薄毛タイプと認識する人よりも多い結果となりました。一般的に、M型は鏡などを見て本人自身が意識し始めることが多く、O型はつむじなど頭頂部を自身で見る機会が少ないため、周囲の指摘によって意識し始めることが多い傾向にあります。

※薄毛タイプに関する意識調査で、医療機関で行われる薄毛タイプの診断結果ではありません。

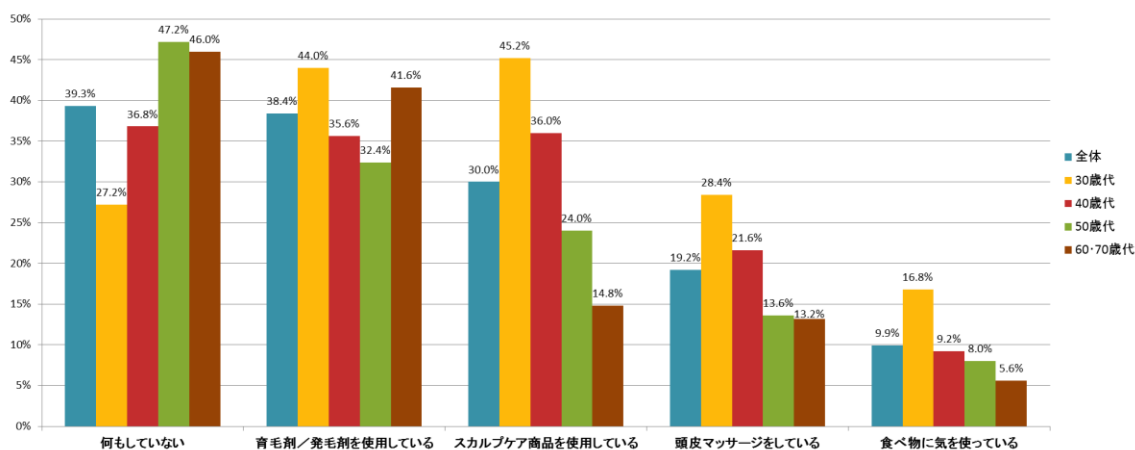
Q. あなたの薄毛は、前頭部のヘアラインが上がっていき、おでこが広がっていくM型、頭頂部の薄毛が進行するO型のどちらに当てはまりますか？（単一選択式/n=1,000）



◆若い人ほど薄毛対策に取り組んでいる傾向に

現在取り組んでいる薄毛対策について尋ねたところ、30代男性では「何もしていない」（27.2%）と回答した人を除く72.8%が日頃から薄毛の改善に取り組んでいることが判明しました。また、同年代では、その実践方法として「スカルプケア商品（シャンプー・コンディショナー）の使用」（45.2%）が高い支持を集めました。一方、「育毛剤／発毛剤」の使用率は全ての年代において3割を上回り、薄毛を解消するためのアイテムとして最も広く用いられていることが分かりました。

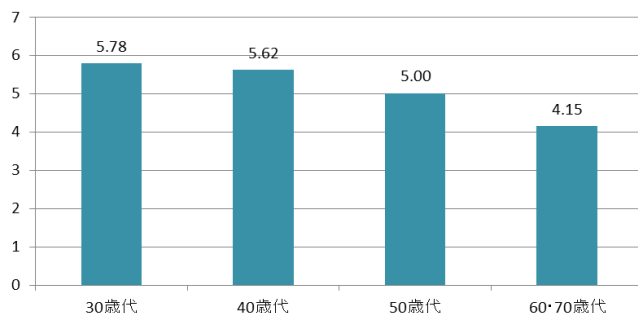
Q. あなたは、現在どのような薄毛対策に取り組んでいますか？（複数選択式/n=1,000/上位5回答）



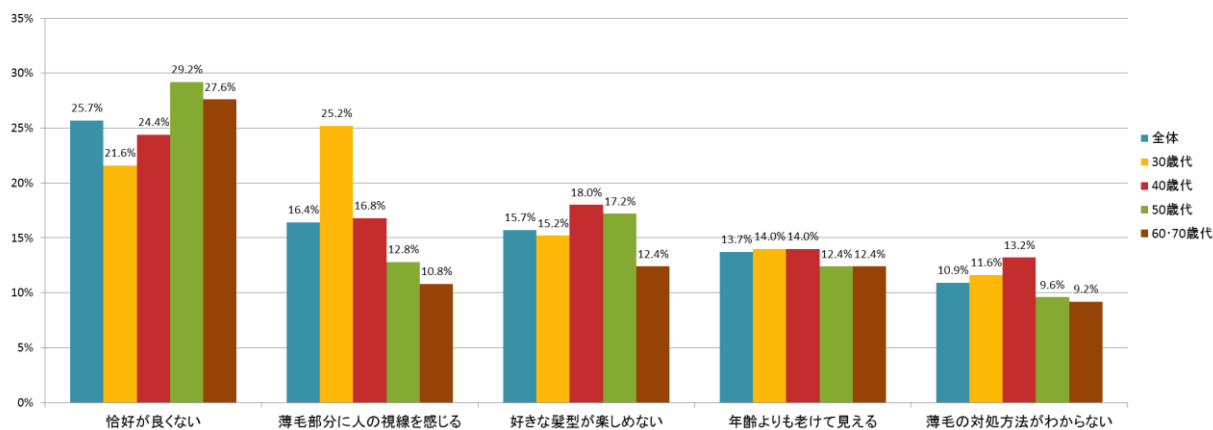
◆薄毛ストレス度は年代と共に減少。ストレス内容のトップは「恰好が良くない」

薄毛の精神的ストレスの度合いを1～10の値（10＝最大）で尋ねたところ、若い年代ほどその度合いが高いことが分かりました。薄毛で一番ストレスに感じていることとしては、「恰好が良くない」（25.7%）が最も多く、年代を問わず多くの男性が髪型を身だしなみの重要な要素と考えていることが伺えます。

Q. あなたの薄毛の精神的ストレスの度合いを数字で表した場合、どの程度になりますか？
最大を10として、0～10の数字であらわしてください。（単一回答式/n=1,000）



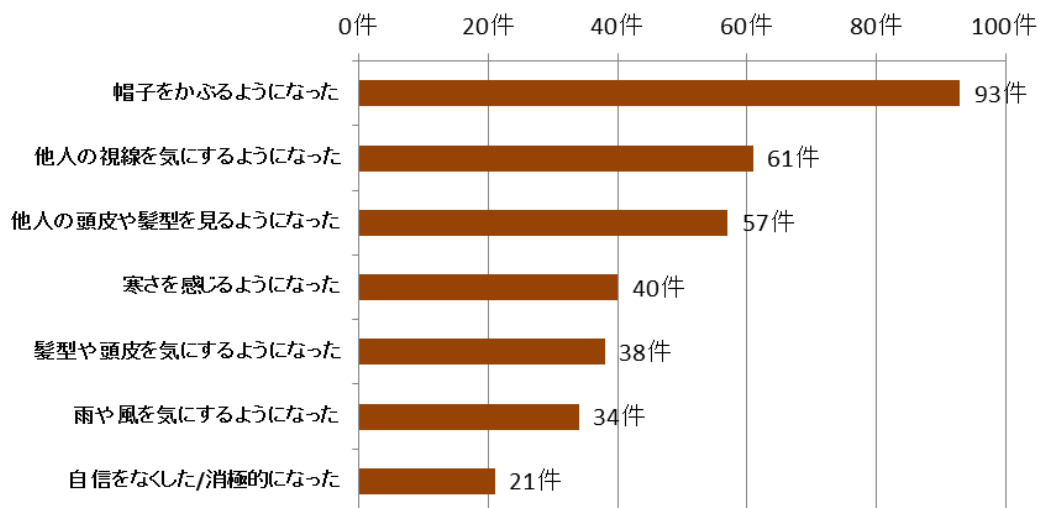
Q. あなたが今、薄毛で一番ストレスに感じることは何ですか？（単一選択式/n=1,000/上位5回答）



◆薄毛になって変わったこと 1位「帽子をかぶるようになった」、2位「他人の視線を気にするようになった」、3位「他人の頭皮や髪型を見るようになった」

「普段の生活において、薄毛になってから変わったこと」について尋ねたところ、「帽子をかぶるようになった」が93件で最も多く、2位に「他人の視線を気にするようになった」（61件）、3位に「他人の頭皮や髪型を見るようになった」（57件）が続きました。また、少数意見として「プールや海で泳がなくなった」（8件）、「鏡を見なくなった」（4件）という回答も見られました。

Q. 普段の生活において、薄毛になってから変わったことはありますか？
（自由記述式/複数回答/n=1,000/有効回答数654件を内容より分類/上位7回答）



◆ウィッグ着用タイミング トップは「必要となった時にすぐ」「転職」や「定年」も

30～70 代の薄毛で悩んでいてウィッグの使用に興味がある男性（n=224）に、ウィッグの着用タイミングを聞いてみたところ、「タイミングに関係なく、必要となった時にすぐ使用したい」の回答が全ての年代で最も多く、全体の 57.1%を占めました。一方、30 代の 22.2%、40 代の 28.6%が「転職」、50 代の 23.9%、60～70 代の 14.6%が「定年」と回答しており、新生活や環境の変化をウィッグ着用タイミングのひとつとして考える人がいることが分かりました。

Q. 今後ウィッグを使用するとしたら、どのタイミングで使用してみたいと思いますか？
（単一選択式／ウィッグの使用について「興味がある」と答えた人ベース／n=224）

